

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公表番号】特表2006-517690(P2006-517690A)

【公表日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2004-537309(P2004-537309)

【国際特許分類】

G 06 F 21/20 (2006.01)

G 09 C 1/00 (2006.01)

G 06 F 21/22 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/00 3 3 0 D

G 09 C 1/00 6 6 0 D

G 06 F 9/06 6 6 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月25日(2007.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分散コンピューティング・ドメインにおける方法であって、

管理オブジェクト及びユーザ・オブジェクトを1つ又は複数のアプリケーション・サーバに分散するステップと、

管理オブジェクトのドメイン・レベル・セキュリティのためのグローバル・セキュリティ・フラグを定義するステップと、

1つ又は複数のアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグを前記分散管理オブジェクトへのインターフェースに関連付けるステップと、

前記グローバル・セキュリティ・フラグ及び前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが有効である場合に、ユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを保護する第1モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが有効であり、かつ前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが無効である場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクトを用いるが、管理オブジェクトを保護する第2モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが無効である場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを用いる第3モードを含むモードのうちの1つにおいて、1つ又は複数のセキュリティ・オペレーションを、アプリケーション・サーバによってクライアント・プロセスと協同して実行するステップと、

を含む、方法。

【請求項2】

セキュリティ・オペレーションを実行する前記ステップが、管理オブジェクト及びユーザ・オブジェクトのために別個のセキュリティ・オペレーションを提供するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

アプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグを管理オブジェクト・インターフェ

ースに関連付ける前記ステップが、アプリケーション・サーバのユーザ・オブジェクト・セキュリティが有効である場合に、アプリケーション・サーバ上のユーザ・オブジェクトについてタグ付きコンポーネントを備えたCORBA IORをエクスポートするアクション、及びアプリケーション・サーバのユーザ・オブジェクト・セキュリティが有効である場合に、アプリケーション・サーバ上のユーザ・オブジェクトについてUDDIレジストリにオブジェクト・タイプを提供するアクションを含むアクション群から選択されるアクションを実行するステップ含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

保護されるべきオブジェクトの宣言リストにアクセスするステップをさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

認証、許可、及びトランスポート保護のリストから選択されたセキュリティ・オペレーションを実行するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

シンプル・オブジェクト・アクセス・プロトコル及びORB間プロトコルを含むプロトコル群から選択されたセキュリティ・プロトコルが使用される、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

分散コンピューティング・ドメインにおいて用いるためのコンピュータ・プログラムであって、該プログラムがコンピュータ上で実行されるときに、

管理オブジェクト及びユーザ・オブジェクトを1つ又は複数のアプリケーション・サーバに分散するステップと、

管理オブジェクトのドメイン・レベル・セキュリティのためのグローバル・セキュリティ・フラグを定義するステップと、

1つ又は複数のアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグを前記分散管理オブジェクトへのインターフェースに関連付けるステップと、

前記グローバル・セキュリティ・フラグ及び前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが有効である場合に、ユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを保護する第1モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが有効であり、かつ前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが無効である場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクトを用いるが、管理オブジェクトを保護する第2モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが無効である場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを用いる第3モードを含むモードのうちの1つにおいて、1つ又は複数のセキュリティ・オペレーションを、アプリケーション・サーバによってクライアント・プロセスと協同して実行するステップと、

を実行するように構成されたプログラム・コード手段を含む、コンピュータ・プログラム。

【請求項8】

分散型コンピュータ・ドメインにおけるオブジェクト・レベル・セキュリティ・システムであって、

1つ又は複数のアプリケーション・サーバに分散された1つ又は複数の管理オブジェクト及び1つ又は複数のユーザ・オブジェクトを記録する手段と、

ネットワーク・コンピューティング・ドメイン・レベル内の前記管理オブジェクトのセキュリティを定義するグローバル・セキュリティ・フラグを記録する手段と、

前記分散管理オブジェクトへのインターフェースに関連付けられた1つ又は複数のアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグを記録する手段と、

前記グローバル・セキュリティ・フラグ及び前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが有効である場合に、ユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを保護する第1モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが有効であり、かつ前記関連付けられたアプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが無効である

場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクトを用いるが、管理オブジェクトを保護する第2モードと、前記グローバル・セキュリティ・フラグが無効である場合に、セキュリティ・オペレーションなしにユーザ・オブジェクト及び管理オブジェクトを用いる第3モードを含むモードのうちの1つにおいて、アプリケーション・サーバによってクライアント・プロセスと協同して実行可能な1つ又は複数のセキュリティ・オペレーションを実行する手段と、

を含む、システム。

【請求項9】

前記セキュリティ・オペレーションが、管理オブジェクト及びユーザ・オブジェクトのための別個のセキュリティ・オペレーションを含む、請求項8に記載のシステム。

【請求項10】

管理オブジェクト・インターフェースに関連付けられた前記アプリケーション・サーバ・セキュリティ・フラグが、アプリケーション・サーバのユーザ・オブジェクト・セキュリティが有効である場合に、アプリケーション・サーバ上のユーザ・オブジェクト用のタグ付きコンポーネントを備えたCORBA IORと、アプリケーション・サーバのユーザ・オブジェクト・セキュリティが有効である場合に、アプリケーション・サーバ上のユーザ・オブジェクト用のUDDIレジストリにおけるオブジェクト・タイプとからなるグループから選択されたオブジェクト・タイプ・インジケータを含む、請求項9に記載のシステム。

【請求項11】

どのIOR又はUDDIレジストリ・エントリがユーザ・オブジェクト・セキュリティを有効にさせるのに修正されるべきかを判断するための、保護されるべきオブジェクトの宣言リストをさらに含む、請求項10に記載のシステム。